



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '99 2月号

## 平塚市史料展「平塚の近世絵画」

期 間：平成11年2月6日〔土〕～14日〔日〕

会 場：博物館特別展示室



人はいつも心を形に表してきた

草摺曳絵馬 熊野神社（土屋）所蔵

平塚市教育委員会では、平成4年度から平成8年度の5年間で「平塚市中世近世絵画調査」を実施しました。この調査によって、市内の寺社に伝わる多くの絵画の所在が明らかとなり、その成果の一部を平成9年1月に平塚市史料展「平塚の中世近世絵画」として公表しました。今回は、その第二弾として博物館特別展示室で公開いたします。ただし、今回の展示には中世絵画が含まれていませんので、タイトルは「平塚の近世絵画」としました。

今回の史料展では、「くらしの風景」「仏への信心」「神への祈り」という3項目に分けて展示を構成します。「くらしの風景」では、中原御宮記（市指定重要文化財）と天橋立図屏風（いずれも博物館所蔵）を、「仏への信心」では各寺院が所蔵する仏画等を、「神への祈り」では、各神社に伝わる絵馬を展示いたします。

このように作品を見てくると、古くから人は様々な理由から絵を描いてきたことがわかります。これらの絵画は、年を経ることによって、単に美術的な要素だけではなく、歴史的な価値が加わると共に、過去の証言者にもなってくるのです。今回の史料展を通じて、私たちの郷土とその歴史にまで思いを馳せていただければ幸いです。

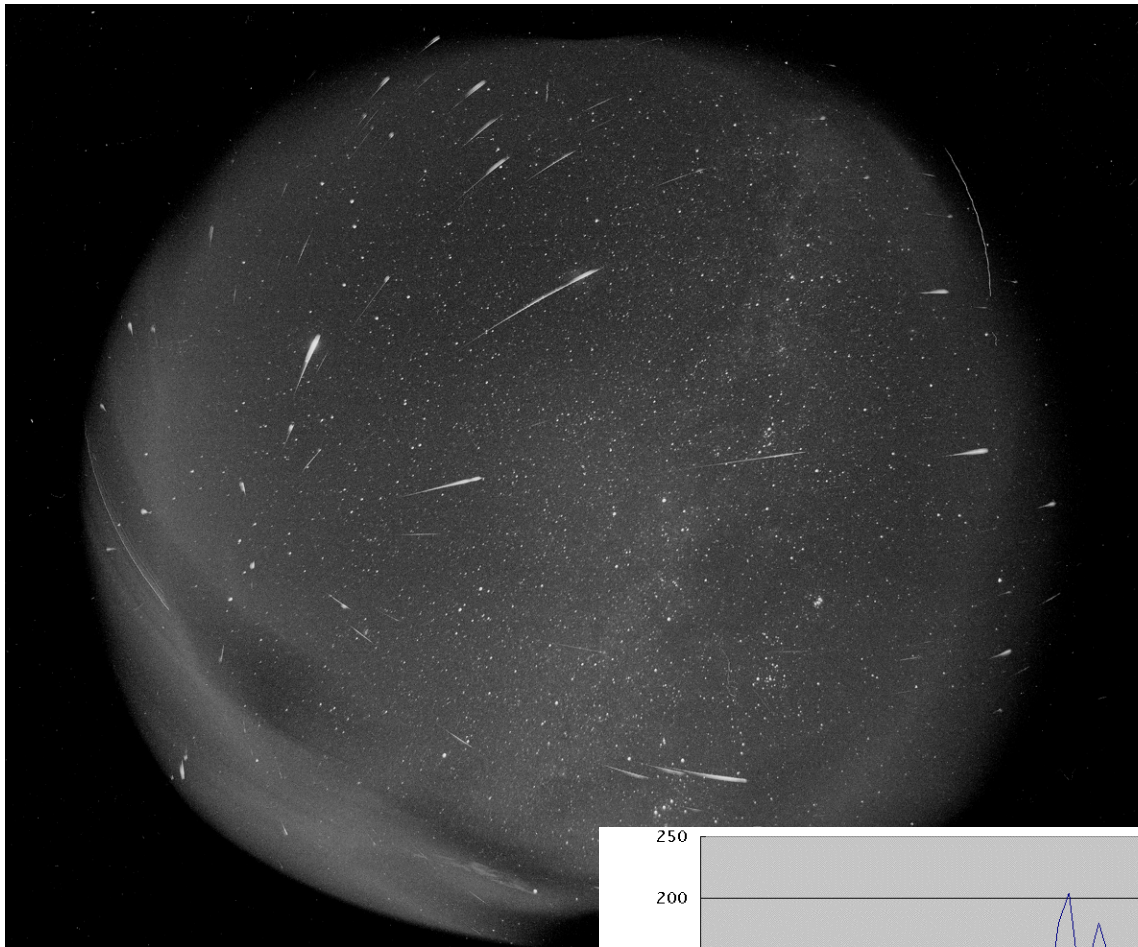
主 催：平塚市教育委員会・平塚市史料展実行委員会

問い合わせ先：社会教育課文化財保護担当 電話0463(35)8124

寄贈品コーナー 2月16日(火)から3月31日(水)まで

## しし座流星群

しし座流星群の結果報告など最近の天文現象から



スロバキアで撮影された流星slovak-fisheye

### しし座流星群の結果

昨年11月18日のしし座流星群の観測結果が入ってきています。

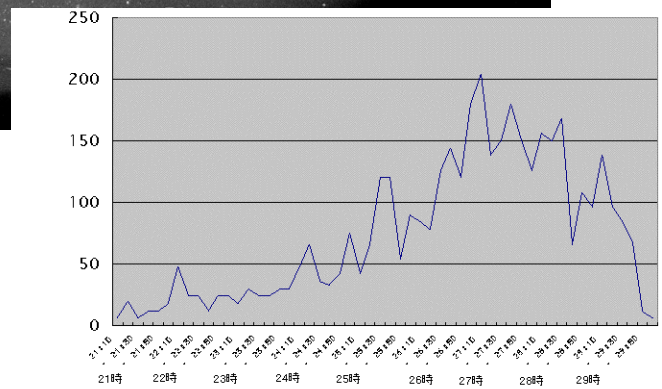
予想に反して日本や東アジアよりもヨーロッパ、南米で見られた流星の数のほうが多かったという結果が出てしまいました。予想よりも早くピークがきてしまったのが原因のようです。

写真はスロバキアで撮影された魚眼レンズによる長時間露出の写真です。流星がしし座(写真左側)から放射状に流れ出しているのがわかります。

日本では電波による流星観測などから、電波観測によると17日の午前2時頃から10時頃まで流星数が多く観測されていました。

### 天文甲子園

国内では、全国の高校生が同時に流星を観測して、流星の出現状況を調べようと、徹夜で観察をしました。その結果も集計され、発表されてきました。それによると、1時間当たりの修正平均で100以上の活発な出現は18日0時頃から5時過ぎまで続いたようです。



高校生が観測したしし群の出現数

### 4時13分の大流星

平塚でも多くの方が見られた、4時13分の大流星は、おそらく「世界一目撃者数の多かった流星」とも言えるでしょう。

多くの観測から概略の対地経路が日本流星研究会の関口孝志さんによって計算されました。それによると、発光点は千葉県館山市と静岡県伊東市を結ぶ線上のほぼ中間点の伊豆大島乳ヶ崎(大島の北端)の北約19kmの相模灘上空で、火球はここから西北西方向に飛行して沼津市市街地北部上空で消滅したことがわかりました。  
発光点：東経139度23分 北緯34度58分 高度175km  
最輝点：東経138度53分 北緯35度06分 高度86km  
消滅点：東経138度51分 北緯35度07分 高度80km

## 二重の虹

虹は雨上がりの夕方などによく見られます。虹は、太陽の光が空中にある雨の粒に反射したもののなのです。ただし、虹は、水滴の表面ではなく内部で反射した光によって作られます。

虹の現れる位置についてももう少し詳しく言うと、太陽の正反対になる1点を中心に、半径 $42^\circ$ くらいの円（弧）を描きます。

光は空気中から丸い水の粒の中に入るときに屈折（図1の①）し、水滴の底にあたる部分（図1の②）で反射します。反射した光は水滴を出るときにまた屈折します（図1の③）。水滴に平行に入る光がどのような角度で出てくるか、光跡をパソコンで計算させたのが、図2です。その結果を図にすると図3のようになります。これはフランスの哲学者デカルトが見つけたとされるもので、その角度は $42^\circ$ 付近で重なり、他よりも強くなるのです。実際には反射してくる光の強さも角度によって異なってくるのですが、これが虹の原理と言ってよいでしょう。また、虹が色づくのは、屈折するとき色によって屈折率がちがうため、光の進路が分かれるからです。

ここでひとつ疑問が生じます。図1の②の場所では、反射は起きないのでしょうか。

実は起きるのです。そこでこれを計算させ、作図したのが図4と5です。こうして出てきた光は、太陽の正反対から $51^\circ$ くらいのところで強くなります。これが時折見られる二重の虹の原因になります。このとき外側の虹は色のなればが内側のものとは逆になります。なかなかお目にかかれませんが、こんど見かけたら注意して見てみましょう。

今月のプラネタリウムでは、虹のほか、太陽の光を源に見られるいろいろな空の「虹色」の現象について紹介しています。

図1

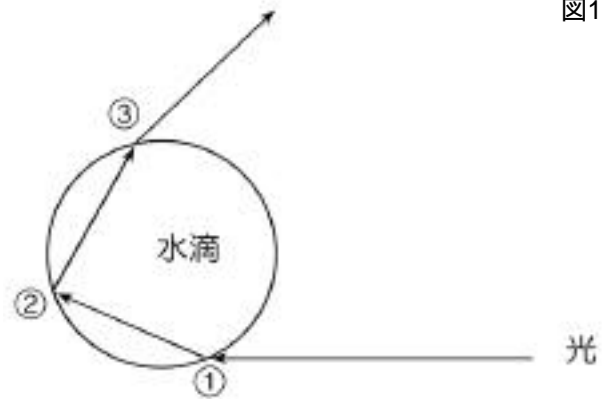


図2

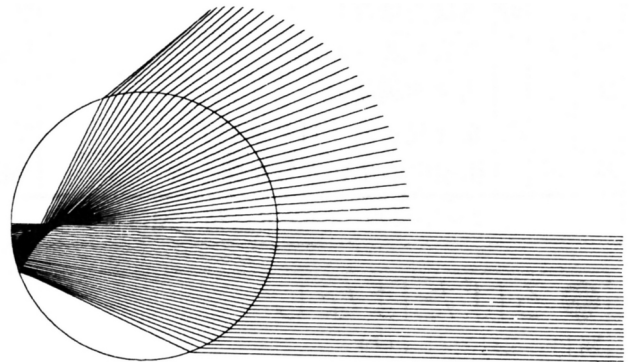


図3

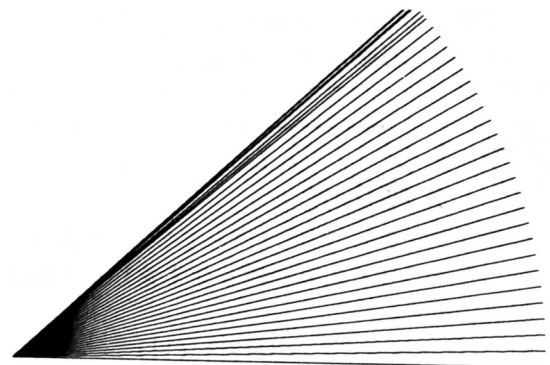


図4

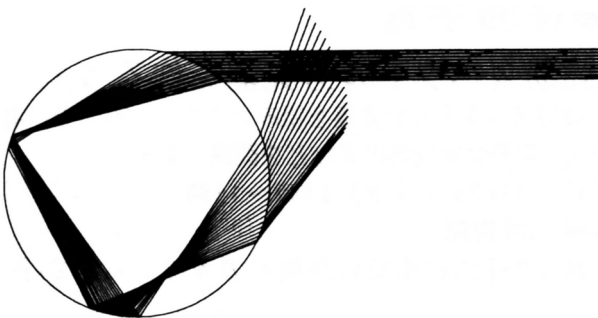
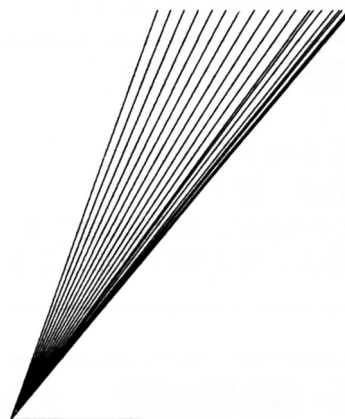


図5





# 博物館カレンダー

## 2月の行事予定

5	金	古文書講読会	特研究室
7	日	民俗探訪会「松田駅～東山北駅」	開成町
10	水	地質調査会	特研究室
12	金	古文書講読会	特研究室
13	土	天体観察会「カノーブス」	海岸
14	日	◎こども観察会「冬を越す水鳥」 地質調査会	花水川 野外
16	火	寄贈品コーナー「しし座流星群展」	展示室
17	水	裏打ちの会	科学室
19	金	古文書講読会	講堂
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会	特研究室 科学室
21	日	古代遺跡を探す会 ◎ろばたばなし	野外 展示室
25	木	石仏を調べる会	特研究室
26	金	古文書講読会 ◎星を見る会「月と惑星」	講堂 屋上
28	日	相模川の生い立ちを探る会	高松山

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ●ろばたばなし

期日：2月21日（日）

内容：ひょうたん池のはおり姫、おにのむこどの、  
かもとりごんべい

時間：10時30分と11時の2回 参加自由

場所：博物館1階展示室の民家内

### ●プラネタリウム 「虹・太陽の光」

虹、日暈（ひがさ）、幻日（げんじつ）、彩雲（さいうん）等、太陽の光と大気が織りなす美しく不思議な現象を解説します。

期間：1月16日（土）～3月7日（日）

投影日：毎週土・日曜日、11時と2時の2回

### ●星を見る会「月と惑星」

期日：2月26日（金）

時間：19時から20時30分まで

場所：博物館科学教室、屋上

内容：月と土星、西空の金星、木星を観察します。  
参加自由。ただし雨天、曇天時は中止とします。

## 3月の行事予定

5	金	古文書講読会	講堂
7	日	民俗探訪会	山北町
10	水	地質調査会	特研究室
11	木	石仏を調べる会 特別展「暮らしの中の鉱物展」4月11日まで	特研究室 特展室
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	◎漂着物を拾う会	海岸
14	日	地質調査会	野外
17	水	裏打ちの会	科学室
19	金	古文書講読会 ◎星を見る会「春の星」	講堂 屋上
20	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会	特研究室 科学室
21	日	古代遺跡を探す会	野外
24	水	地質調査会	科学室
25	木	石仏を調べる会	特研究室
26	金	古文書講読会 ○体験学習「簡易スペクトル分光器」	講堂 科学室
27	土	天体観察会「まとめ」	科学室
28	日	相模川の生い立ちを探る会	大山

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

### ●寄贈品コーナー

#### 「しし座流星群展」

11月17日から18日にかけて現れたしし座流星群の結果などを展示します。

期間：2月16日（火）～3月31日（水）

### ●漂着物を拾う会

期日：3月13日（土）午前9時30分～11時

集合：花水川橋平塚側たもと 参加自由 \*雨天中止

### ●体験学習

#### 「簡易スペクトル分光器を作ろう」

簡易スペクトル分光器を組み立てて、太陽の光、電灯の光、炎や金属元素の光などを観察します。

期日：3月26日（金）13時～16時

場所：博物館

申込：3月12日までに往復ハガキで。定員20名

## あなたと博物館

23巻 11号 通巻265 発行 平塚市博物館 3000

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:31-3949